

「歩く県道・東松峠（越後街道）」

地域づくりニュース H27 Vol.3

第3回「歩く県道（東松峠）」地域づくり検討会を開催し、東松峠を護る会や高寺地区地域づくり協議会、東北芸術工科大学の学生・教員のみなさんとともに、今後の街道整備計画や東松峠を活用した地域づくりについて話し合いました。平成23年度から道普請を開始し、安全に歩きやすい道に整備されたことや、峠道の文化財としての価値を見直す取り組みが各地で盛んになってきたことなどから、東松峠を訪れる人が少しずつ増えています。来年度で予定していた道普請箇所が完了する見込みとなったことから、今後の利活用方法について、活発な意見交換を行いました。

第3回歩く県道（東松峠）地域づくり検討会を開催しました

- 日時● 平成28年3月3日（木） 13時30分から16時10分
高寺コミュニティーセンターにて開催
- 参加者● 東松峠を護る会、高寺地区地域づくり協議会、
東北芸術工科大学の学生・教員、田賀意匠事務所
会津坂下町、福島県 合計21名
- 話し合われたこと●
 - ✚ 平成28年度の年間スケジュールを確認しました。作業前に自然保護の観点も含めた準備が必要との意見がありました。
 - ✚ 高寺地区地域づくり協議会から、今年度の活動内容と次年度の活動計画について報告がありました。
 - ✚ 東松峠を護り活用していくことの意義や、今後の地域づくりにおいて目指していく、地域の方向性について考えました。



今後の街道整備計画について

- 今年度実施した「歩く県道」に関する作業や年間行事を振り返り、平成28年度のスケジュールについて確認しました。現地調査を田植え前の5月20日頃までに終わるようにし、第1回検討会や道普請は平成27年度と同じ時期に実施することとなりました。
- 現地調査で、路面のぬかるみや危険箇所、施工した構造物の経年変化等を確認し、対策が必要な箇所と施工方法を検討することとなりました。
- 貴重な植物が生育しているので、誤って刈り取ってしまわないように、現地調査で生育箇所を確認したうえで、草刈りや道普請を実施することとし、併せて案内看板が必要な箇所を現地調査で確認することとなりました。

現地調査の様子



粗朶柵の杭が少し谷側に傾いています。状況を確認して、今後の対策を考えます。

洞門前広場に土壘を施工



みんなで協力して、大量の土砂を運搬し、土のう袋を積み上げ、完成させました。

次年度に整備したい箇所



岩盤が露頭し、降雨時に滑りやすいので、安全に歩けるようにしたい。

洞門と峠の茶屋の方向を示す案内看板



峠道の入口に誘導するための案内看板も設置したい。

東松峠を活用した地域づくりについて

- 高寺地区地域づくり協議会では、今年度の活動として、地域の文化財に説明看板を設置したり、四季を通して東松峠の魅力を楽しめるようなイベント等を開催してきました。平成 28 年度も同様の活動を継続するとともに、植物リストの作成やネイチャーガイドの養成も考えていきたいとの説明がありました。
- 東松峠を活用した地域づくりを継続し発展させていくためには、今後の地域の方向性について共通認識を持ち、越後街道活用の機運が高まっている西会津町との連携も視野に入れ、若い世代にも参加してもらえようような取り組みとする必要があります。この点を次年度の課題とし、引き続き検討していくこととなりました。

初夏の東松峠ハイキング大会のポスター



春はきれいな花がたくさん咲きます。PRして参加者を増やしたい！

検討会での主な意見や感想

今後の街道整備計画について

- ✚ 洞門前広場は、土壘が出来たことによる排水溝の必要性や、芝の生育状況等について確認し、土壘延伸と併せて対策したい。
- ✚ 東松峠周辺には貴重な植物が生育している。草刈りや道普請の際に配慮してほしい。誤って刈り取ってしまわないような対策を検討する。
- ✚ 貴重な植物を保護し、街道を整備するうえでの情報を共有するためにも、植物マップやリストの作成を今後の検討課題としたい。
- ✚ 現地調査の時に、洞門入口周辺の安全対策として、応急的にロープを張ったり柵を設ける等の対応を行うこととする。
- ✚ 会津坂下町で管理する道の補修作業についても、引き続き町が対応について検討していく。

洞門前広場の様子



土壘を延伸して完成させる予定です。

東松峠を活用した地域づくりについて

- ✚ 東松峠や道普請の位置付け、今後の地域の方向性について議論し、思いを共有して、これからも道普請を継続したい。
- ✚ 地域全体が関心を持つ方策を考えて、地域づくりを進めたい。今後も県の協力を得て、会津坂下町と西会津町の双方から行き来できるように、道を整備して繋げたい。
- ✚ 東松峠や文化財を守ることが地域を守ることの基本になる。地域の人々が参加できる活動にこれからも取り組んでいきたい。
- ✚ 道路は人に歩いてもらうためにある。色々なイベントを企画し、越後街道に関する活動が盛んになっている西会津とも協力して、より多くの人に歩いてもらえるように努力するべき。峠を越えて軽沢まで歩けるようにならないと、峠としての価値が半減してしまう。
- ✚ 峠を守っていくためには、峠道や自然を保全するとともに、天屋・本名・軽沢集落の民俗を記録として残すことも必要である。
- ✚ 洞門を通れるようにして集落間を繋ぐ道にすることで、若い世代の関わり方も変わらと思う。
- ✚ 東松峠をさらに利活用していくために、会津坂下町と西会津町の役場や観光協会等で、越後街道としての取り組みについて話し合いをしていきたい。

きれいに整備された峠道



草刈が行き届き、歩きやすい状態に保たれています。

越後街道野澤宿交流会の様子



西会津町で開催され、79名の方が参加されました。

検討会での意見交換を通して、地域の人達の東松峠や洞門に対する熱い思いを感じることができました。次年度もその思いを大切に、関係自治体や学生のみなさんと連携を取りながら、東松峠を活用した地域づくりについて検討してまいります。今回は、今までの活動の枠を超えた取り組みについても検討しますので、後世に悔いを残さぬよう地域の思いを語りつくしましょう。

ご意見・お問い合わせは



福島県会津若松建設事務所 企画調査課

TEL 0242-29-5455

FAX 0242-29-5459